

令和4年度 臨時静岡県森の力再生事業評価委員会 会議録（概要）

日 時	日時：令和4年5月30日（月）午後1時30分～3時まで
場 所	別館7階第1会議室
出席者	<p>○ 委員（敬称略・50音順）</p> <p>小南陽亮（委員長）、恒友 仁（委員長代理）、浅見佳代、井上隆夫、木村美穂、倉田明紀、豊田和子、檜本正明、波多野初枝、原田健一（10人）</p> <p>○ 事務局（県側出席者）</p> <p>櫻井正陽農林水産担当部長、浅井弘喜森林・林業局長、小池源良森林計画課長、渥美寿之産業政策課長 他</p>
議 事	<p>1 開 会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 森の力再生事業について （今年度の評価委員会の実施予定、適正な運用の徹底）</p> <p>4 閉 会</p>
委員発言 概要	<p>ア 所有者への説明に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業が目標とする森林像（経済林ではなく針広混交林）を明らかにし、それに対して適切な手法かどうかの検討が必要である。 ・環境林を目指す本事業と林野庁等による経済林への補助事業との区別がはっきりしないことが問題である。 ・本事業では、所有者の財産価値を高めたり、大きな利益になるようなことを目的にはいけないことを理解してもらう説明努力が必要である。 ・所有者が整備後の状況を事前に想像できるように、もっと丁寧な説明等をしていかなければならない。 ・共有林の場合、代表者の権限を明確にして権利者全員の意思を確認することを徹底するため、添付書類を増やすなど具体的な手続きの検討が必要である。 <p>イ 技術的な部分に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常より幅広い伐採（15m幅）を提案した根拠を明確にすべき。また、今回の伐採を列状伐採というのは一般的か確認が必要である。 ・標高も高く、台風などの強風で風倒木の発生が予想されるが、整備方法についての検討も必要ではないか。 ・兵庫県の事例で、森林整備の結果を定量的に検証し、わかりやすく説明している「災害に強い森づくり事業検証報告書」が参考となる。 <p>ウ 再発防止に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同様の事例発生防止のため、他の事業者等にも注意喚起等する必要がある。 ・トラブル事例等を評価委員会で共有できるようにする必要がある。 ・問題発生時に所有者が相談できる相談窓口を明確にしておく必要がある。 <p>エ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、技術的な部分について、評価委員会の中で審議いただきたい旨提案し、検討するメンバーや進め方は委員長一任で了解された。
会議録・ 会議資料 の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・会議：個人情報等に関する情報のため非公開。 ・会議録の扱い：個人情報等に関する情報のため非公開（概要を公開）。 ・会議資料の扱い：個人情報等に関する情報のため非公開。